

# 北信教育事務所だより

令和7年8月21日 発行 第3号

## 「地域とともにある学校」 飯山市立秋津小学校

飯山市立秋津小学校では、「中庭をみんなの居場所に！」プロジェクトが始まりました。6年生は、総合的な学習の時間の活動を通して、「秋津地域に人々が集う楽しい場所をつくりたい！」という願いを醸成させてきました。「人々」には地域の方々も含まれます。右のチラシを地域の方々にも配布し、中庭を楽しい場所にするために、全校児童だけでなく、保護者や地域の方も交えて話し合う時間をつくっています。



できることがたくさんあって  
ワクワクした。みんなが  
楽しめることを実現させたい。  
(6年生)

今後は、出された意見を整理・分析し、  
話し合いを重ねて方向を決める予定です。

長野県教育委員会では、「つながる学校」を教育課程・学習指導改善の重点に据え、社会に開かれた教育課程を大切にしています。学校・家庭・地域が連携し、協力体制を構築するためには、熟議と協働の視点をもち、好循環させることが必要です。(下図参照)秋津小学校でも、6年生の願いを基に、中庭作りへのビジョンを共有し、熟議を行いました。計画が固まり次第、地域の方と協力して中庭作りを進めていきます。話し合いに参加した地域の方は、「子どもの声を聞いているだけで元気をもらう。中庭が完成したら必ず自分も足を運びたい」と話されていました。「地域とともにある学校」づくりを進めている秋津小学校の取組は、学校だけでなく、地域の方もワクワクする活動として位置付いています。

### つながる学校

#### ①情報・課題・目標・ビジョンの共有 【熟議】

学校の教育目標や教育方針、それについての現状や課題、ビジョンについて、多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねる

### つながる学校

#### ②アクション・実践の意味の共有 【協働】

同じ目的・目標に向かって、互いの立場を活かし協力して共に働く。「計画→実行→評価→改善」の過程の中で実践の意味を検討し共有する。

令和7年度教育課程・学習指導の基本(青本)  
【つながる学校】P6参照



# 教師力向上研修Ⅱ・Ⅳ ～初任者×5年経験者～



## ＜人権学習会＞

「無知が差別を生みます。知ることが差別を解消します。」

あけぼの 人間に光あれ 6訂版「地球市民」より(抜粋)

現在ある様々な人権課題の中から同和問題を取り上げ、副読本「あけぼの」や「人権教育指導資料集」を紹介し、「正しく知る」をキーワードに「子どもたちと共に考える人権教育」について考えました。



### 【参加された先生方の感想】

- ・人権教育を通じて、子どもたちが差別について、気づく力、許さない力、なくす力をつけていけるように、人権感覚を磨き、実践行動ができるように日々取り組んでいきたいと思いました。(初任者)
- ・当事者の思いに耳を傾け、寄り添い、行動に移していくことが大切ではないかと考えました。(5年経験者)

## ＜グループ討議より＞

参加者の自己課題に基づく、授業づくりや学級づくりについて、経験年数の違いを生かして話し合いました。

持ち寄った教材や学習記録などを紹介しながら実践上の成果や課題を共有し、自己課題解決に向けて更なる一歩を踏み出すため、互いにアドバイスしました。

また、日頃の困り事や悩み事を出し合い、共に考えました。



### 【参加された先生方の感想】

- ・「主体的・対話的で深い学び」について、対話の場面ではどんなことを話してほしいのか「視点」を明確にすることが大切であると改めて感じた。他の方の自己課題を知ることで、自分事として考えることができたし、新しいアイデアを得ることもできた。(5年経験者)
- ・悩みを聞いてもらい、アドバイスをもらうことで気持ちが少し軽くなりました。(初任者)
- ・これまで他の先生にアドバイスをすること、会の進行をすること等あまりなかったため、少しずつ経験を増やしていきたい。自分の実践を振り返りながら他の先生方と話をすることで、自分が意識していることに気づくことができた。(5年経験者)

初任者と5年経験者が混ざるクロスエイジセッション形式でグループ討議を行ったことで、それぞれの経験や視点から意見を出し合い、より多角的で柔軟な解決策を考えることができました。

経験年数が異なる方と交流することは、知識や経験の伝達、視野の広がり、新たな発見、不安の軽減などにつながります。皆さんの職場でも日々の取り組みや困り事、悩み事を語り合う時間をとってみてはいかがでしょうか。







# 日本語指導の充実を目指して

～5/22 第1回 北信地区外国人児童生徒等指導研修会～

外国人児童生徒等の支援に携わる先生方が集まり、外国人児童生徒等への指導に関わる現状や指導事例等を学び合いました。

## 研修会の内容と参加された先生方の感想

### 研修1「外国人児童生徒等の現状」(講義とグループ討議)

多くの外国の方が日本に住み、日本語指導が必要な児童生徒が年々増えているということを知りました。真の多様性を実現していくことが大切だと感じます。



日本語指導が必要な生徒の進学や就職の選択肢が狭まってしまう現状をなんとか打開したいです。



音声教材の利用(※)が有効な手立ての1つなんですね。特別支援の教材に有効なものも多くあることも知りました。特別支援学級の先生に聞いてみます。



### 研修2「日本語指導に関する事例紹介・情報交換」(グループでの情報交換)

「子ども中心」「安心できる環境づくり」「心のサポート」の大切さを再認識できました。

同じ日本語教室であっても、一人一人実態が大きく異なるので、個別の指導計画をしっかりと作成して指導していかなければ、と思いました。



### 研修3「ネットワークづくり」

北信教育事務所では、Google Classroomを使って外国人児童生徒等の指導・支援について情報を発信しています。研修3では、情報収集や「ヨコのつながり」の充実のために、「R7外国人児童生徒等指導・支援に関するClassroom」を紹介しました。興味のある方、ネットワークに参加したい方は北信教育事務所までお問合せください。

日本語指導が必要な児童生徒のこと、また、その子どもたちの置かれている現状を、校内職員研修等で共通理解し、一人一人に思いを寄せていくことが、日本語指導充実の第一歩につながります。

次回の研修は、11/18(火)に篠ノ井西小学校で授業を公開していただき、参観を通して学び合います。日本語指導担当の先生だけでなく、担任の先生や管理職の先生、どなたでも参加していただけます。10月下旬頃、開催通知を各学校へ送付する予定です。



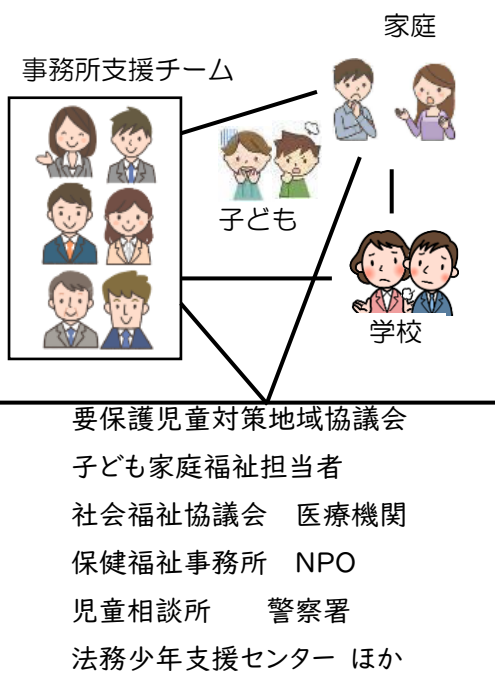
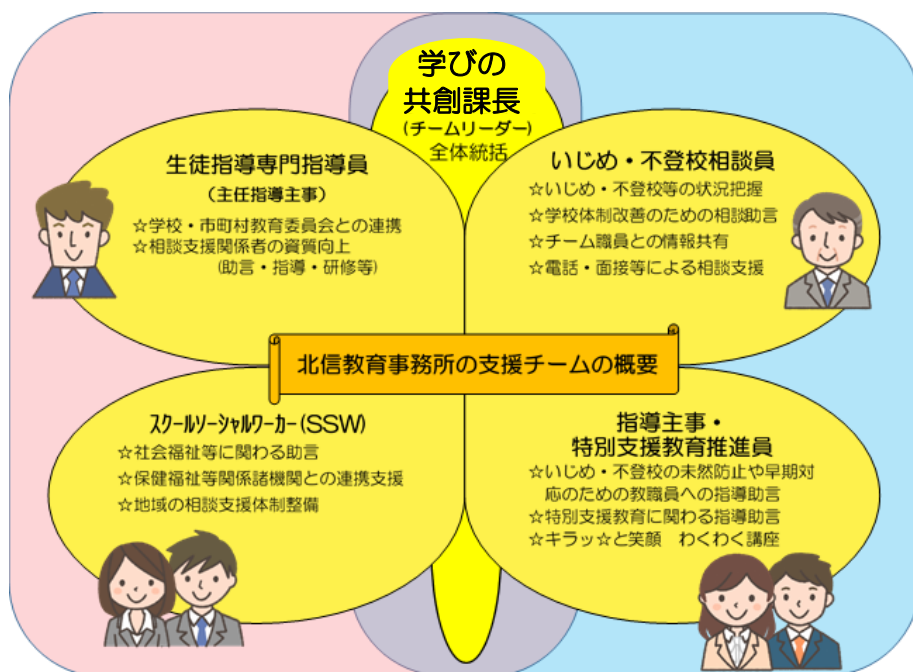
※音声教材についてさらに詳しく知りたい方はこちらをご参照ください。



# どの子にも「居場所、生きがい、存在感」のある学校づくり

北信教育事務所では、いじめ・不登校地域支援チームを設置し、学校・家庭・関係機関による地域支援体制をサポートしています。

- ◎福祉に関する専門的な助言を必要とするケースに対し、SSWが、本人を取り巻く環境も含めて問題解決への糸口を探り、福祉・医療機関等と連携して対応します。
- ◎学校が生徒の家庭状況に「介入しにくいケース」についても、学校から状況を聴かせていただき、家庭に関わるための適切な方法などを一緒にアセスメントし対応していきます。
- ◎令和7年度1学期はおよそ200ケースの対応をしています。学校の相談先の一つとして「いじめ・不登校地域支援チーム」に、電話(026-234-9551)でお気軽にご相談ください。



## キラッ☆と笑顔 わくわく講座



いじめ・不登校地域支援チームの活動として、指導主事による「キラッ☆と笑顔 わくわく講座」を実施します。教育支援センターや校内サポートルームに通う子どもたちが、仲間と活動する楽しさや一人でじっくりと活動するよさを感じられるよう、一緒に活動します。今年度は8月～2月に開講します。

申し込み等の詳細については、7月に市町村教育委員会や学校に送付しました『「キラッ☆と笑顔 わくわく講座」について』をご覧ください。随時申し込みの受付をしています。

### 令和7年度の開講予定日

|     |                                                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-----|------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 8月  | 21日(木) 25日(月)                                        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 9月  | 1日(月) 30日(火)                                         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 10月 | 1日(水) 15日(水) 23日(木)                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 11月 | 5日(水)                                                |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 12月 | 2日(火) 3日(水) 18日(木)                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 1月  | 7日(水) 8日(木) 9日(金) 14日(水) 20日(火) 22日(木) 29日(木)        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 2月  | 2日(月) 6日(金) 9日(月) 10日(火) 18日(水) 20日(金) 24日(火) 25日(水) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

### 昨年度の感想

- ・運動量、ゲーム内容ともに子どもにあった活動で、子どもがみんなで楽しむことができました。
- ・いつもは勝ち負けにこだわって途中でやめてしまう子も最後までモルックを楽しむことができました。

